

インターバンクの声（2017 年 9 月 26 日）

ロンドン市場で一時的に 112 円を割り込んだものの、ニューヨーク市場の午前 11 時前までは 112 円台前半を維持していたドル円だったが、国連総会出席のためニューヨーク滞在中だった北朝鮮外相の発言で 111 円台中盤割れまで円買いが進んだ。最近のトランプ米大統領の金正恩党委員長に対する「ロケットマン」発言や複数の米軍機が北朝鮮沖合まで飛行したことがよほど不満だったのだろうか、北朝鮮外相は「トランプ大統領が宣戦布告をした」と記者団に伝え、「自衛的な対応を取るあらゆる権利がある」とまで警告した。

昨日はダドリー・ニューヨーク連銀総裁やエバンス・シカゴ連銀総裁などの講演内容、そしてドイツ総選挙後のユーロ相場の進捗に注目が集まるはずだったが、またしてもリスク回避による円買いが目立ってしまった。

ただユーロはメルケル首相率いる与党が勝利したものの極右政党の躍進もあり、アジア時間からのユーロ売りが 1.18ドル台前半まで続いた。

今晚はイエレン FRB 議長などの講演が予定されているが、トランプ大統領の北朝鮮外相発言への反応が気になる。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。